

1
28.11.51800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊 日々報告 第1756号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情 勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情 勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
（方針・指導要領・各部隊の任務）
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 じ後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気 象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と
日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

1 情 勢

凡例 赤字：変化事項

(1) 全 域

ア 衝突解決合意関連

衝突解決合意は、キール大統領が9月30日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示しているものの、政府内高官による相反する発言が確認されていることから、11月中に予定されてる安保理協議特に、制裁に関する協議の動向には注視が必要

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシヤル第1副大統領派がキール政権に対する抵抗及びジュバ帰還への意思を示したことから、反主流派指導部の分裂、政府軍に統合されていた反主流派の一部離反、国内外へのマシヤル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部において政府軍と反主流派（マシヤル派）との緊張状態が継続し、予断を許さない状況が継続

イ その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対国連感情の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での他部族への悪感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、新たなキール政権への抵抗を示す武装集団の台頭や暫定政府高官の離反が始まる等その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

(2) ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシヤル派）との緊張状態及びエクアトリアー帯での武装集団による襲撃事案は継続するとともに、ディンカ族と他部族との緊張状態も生起し、[REDACTED]との情報もある。また、郊外へ至る経路上では通行許可証等を要求するS O F A違反が継続しているが、F Pを含めたU N M I S Sのパトロールによるプレゼンスの提示及びジュバ-ニムレ道沿いのウガンダ警察と、南スーダン警察との協力態勢の確立による治安の回復が期待されるものの、その状況に注視

(3) ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きS O F A違反の発生状況に注視

では、常続的に射撃が確認されており、
逐次進展が見られるものの、ディンカ族とエクアトリアンの
対立、不安定な状態にあり引き続き些細
な変化に注意が必要

また、ケニア軍の撤退を政府側及び反主流派双方とも支持しており、さらに国連のタスク
フォース派遣に関する情報もあることから、今後の対U N M I S S感情の変化に注意が必要

(4) ウガンダ

2016年2月の大統領選及び5月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパ
ラにおいては確認されていないものの、7月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警
察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では
注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認
されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5) 活動に及ぼす影響

宿营地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事
故への巻き込まれには注意が必要

なお、UNハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動する政府軍兵士が確認さ
れていることから近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、U N M I S S部隊や地元民が通常通りの活動を実施している
ものの、地元民から治安事象が確認されており、流れ弾には注意が必要

2 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。
また、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区内における給水活動（成果：3 t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

b 情報班をもって、UNトンピン地区内及びジュバ市内における情報収集活動

(イ) 業務調整

隊本部等をもって、UNトンピン地区内における業務調整

(ウ) 宿营地内活動

a 本部付隊をもって、宿营地管理業務

b 施設器材小隊をもって、多目的グラウンド整地

c 各部隊毎、宿营地内における施設、車両、器材等整備

(I) 教育訓練等

隊本部等をもって、宿营地内における国連休暇前教育

(オ) 民生協力

なし

(カ) 隊長による、ジュバ市内ＣＣＣ（Confident Children out of Conflict）慰問現場視
察

(キ) 隊本部等による、ジュバ市内ＣＣＣにおける慰問

(ク) 隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務

エ 表敬等

なし

オ 各種行事等

日本隊宿営地における、豪軍要員との日豪懇親会

カ 国際機関等連携案件

なし

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区内における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

b 情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

(イ) 業務調整

なし

(ウ) 宿営地内活動

a 本部付隊をもって、宿営地管理業務

b 各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

(エ) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

工	表敬等
	なし
才	各種行事等
	なし
力	国際機関等連携案件
	なし

1 本日の成果

別紙第1「活動概要」
別紙第2「活動成果」

活動概要（UNトンピン地区）（1／4）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給 水	補給班	0800～ 0900	トランジット	2	給水車×1	
②	その他	給 水	補給班	0900～ 1000	インド歩兵大隊	2	給水車×1	
③	情報	情報収集	情報班		UNトンピン内			
④	その他	広報活動	隊本部 (広報)	0740～ 1600	UNトンピン内	2	小型×1	
⑤		業務調整（輸送）	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	小型×1	
⑥	施設	宿営地整備	器材小隊	0800～ 1200	日本隊宿営地	6	グレーダ×1 ロードローラ×1	

活動概要（UNトンピン地区）（2／4）



③

情報収集

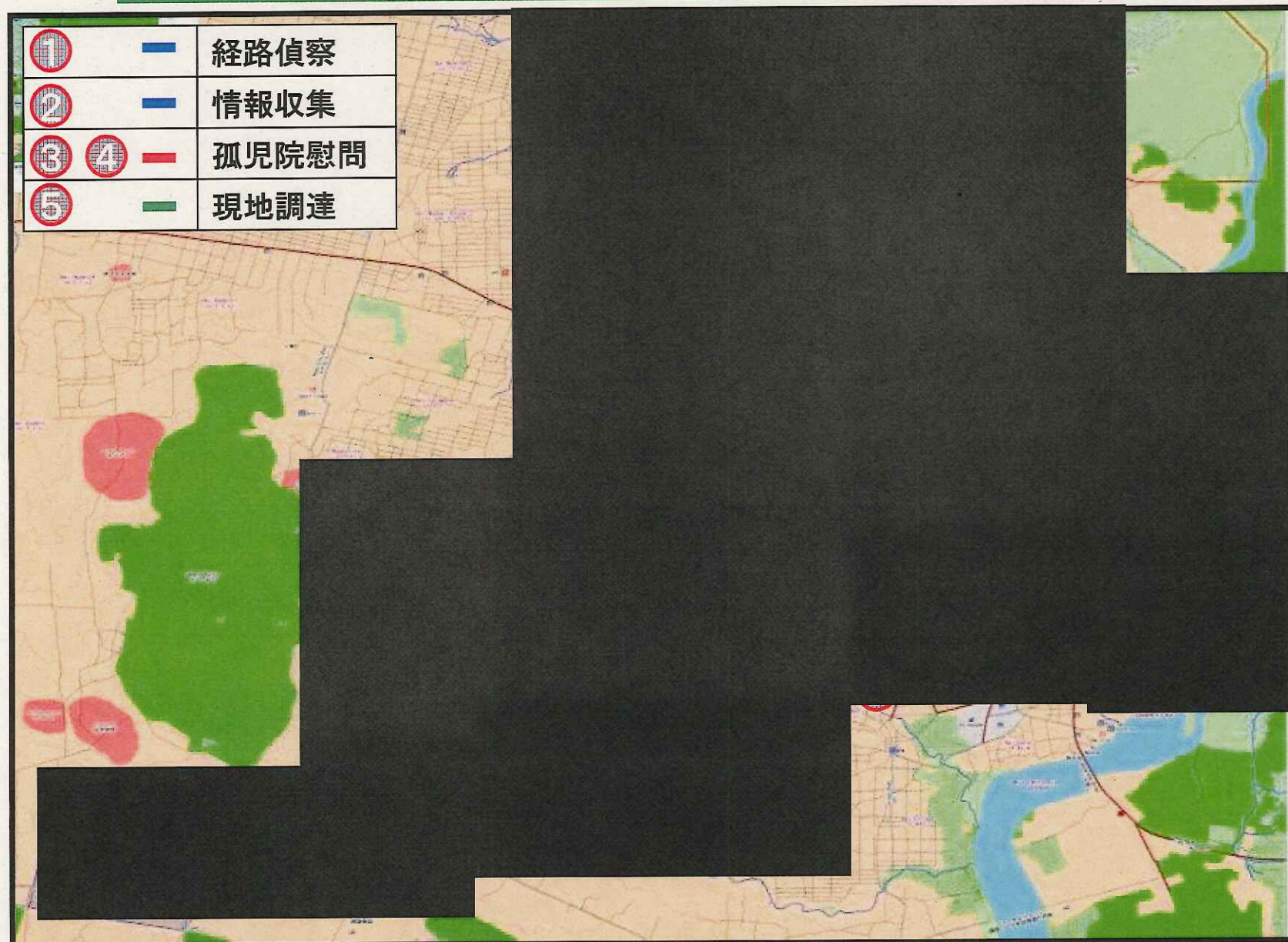
④

広報活動

活動概要（ジュバ市内・UNハウス）（3／4）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③	その他	孤児院慰問	隊本部 (S-1) 各部隊	0900～ 1300	CCC孤児院	21	ランクル×1、高機×3	
④		副隊長孤児院慰問視察 ※状況により隊長	副隊長 隊本部 (S-1)	1010～ 1120	CCC孤児院	4	ランクル×1	
⑤		現地調達（補給班）	補給班	0900～ 1200	ジット LA BAGETTO	3	高機×1	

活動概要（ジュバ市内・UNハウス）（4／4）



本日の活動成果

本日、施設活動なし

2 明日の活動

- (1) 活動に及ぼす影響
 - 別紙第3 「情 勢」
 - 別紙第4 「装備品等現況」
 - 別紙第5 「患者受診状況」
 - 別紙第6 「人員現況」
 - 別紙第7 「総括（評価）」
- (2) 活動命令
 - 別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」
 - 別紙第9 「視察・来隊予定」
 - 別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

凡例 青字：新規
赤字：評価

1 南スーダン全域の情勢

(1) 衝突解決合意履行に関する情報

新規追加事象なし

(2) 衝突解決合意不履行に関する情報

- 4日現在、国内で継続中の衝突等により近隣国へ逃れる避難民の数は、1日あたり3,500人とされており、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は各国政府及び支援機関に対し、到来する避難民（9割が女性・子供とされている）への安全確保と人道的支援を呼びかけた模様

（4日 UN News ” Some 3,500 people fleeing S Sudan each day due to ongoing conflict”）

→ 衝突解決に向けた南スーダン政府の取り組みに対して、避難民受入国及び国際社会からの圧力の高まりがみられるものと思料

(3) その他入手した主要な情報資料

- 4日、中央エクアトリア州イエイにおいて、世界食糧計画（WFP）率いる人道支援物資運搬のトラック

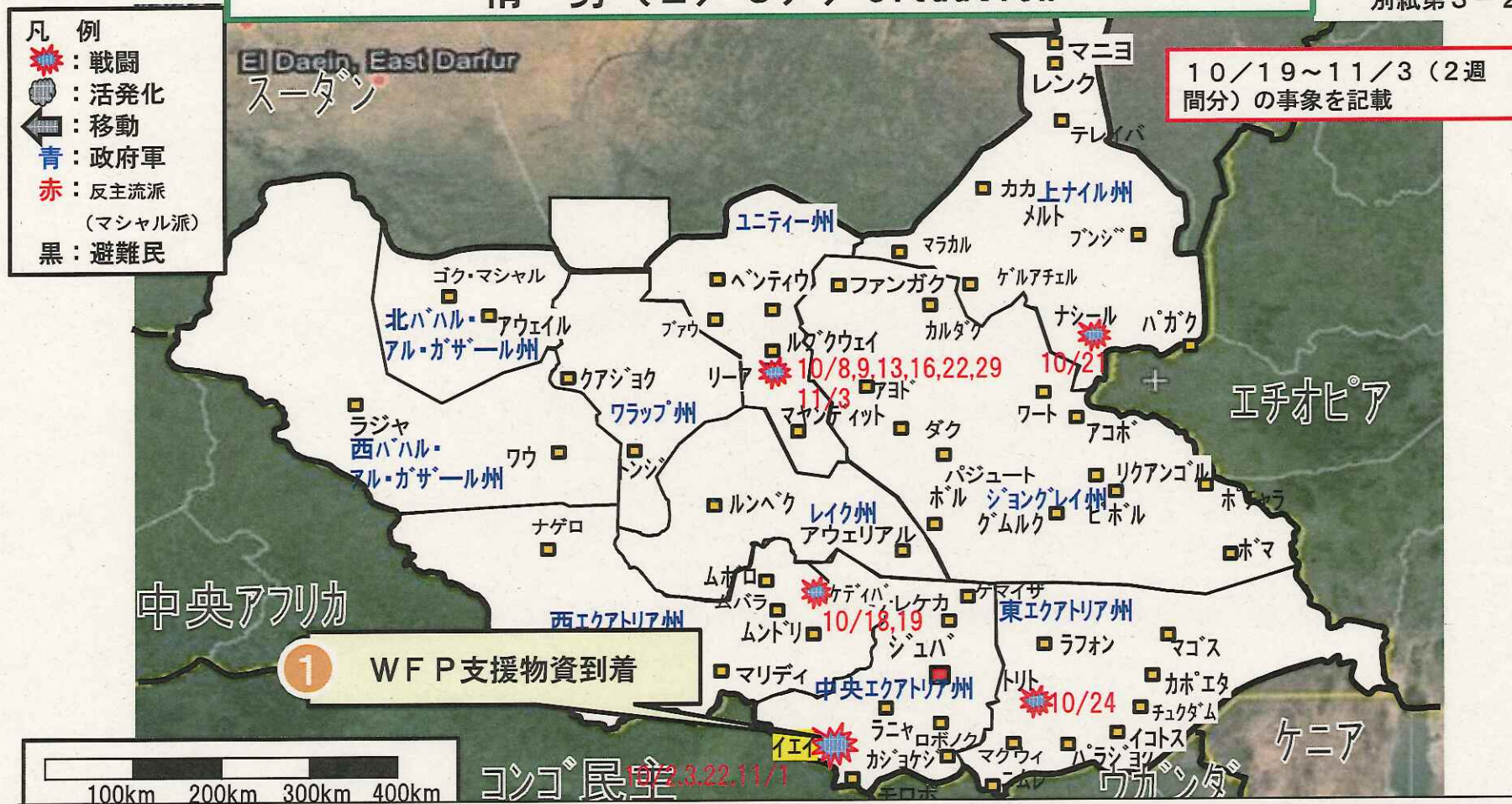
① 38両がイエイ市街に到着し、同地域の避難民52,000名へ届けられた模様

（4日 WFP ” WFP delivers food to 52000 people cut off from aid in S Sudan”）

→ 同地域周辺における衝突事案に起因した避難民の発生は当面継続するものと思料。

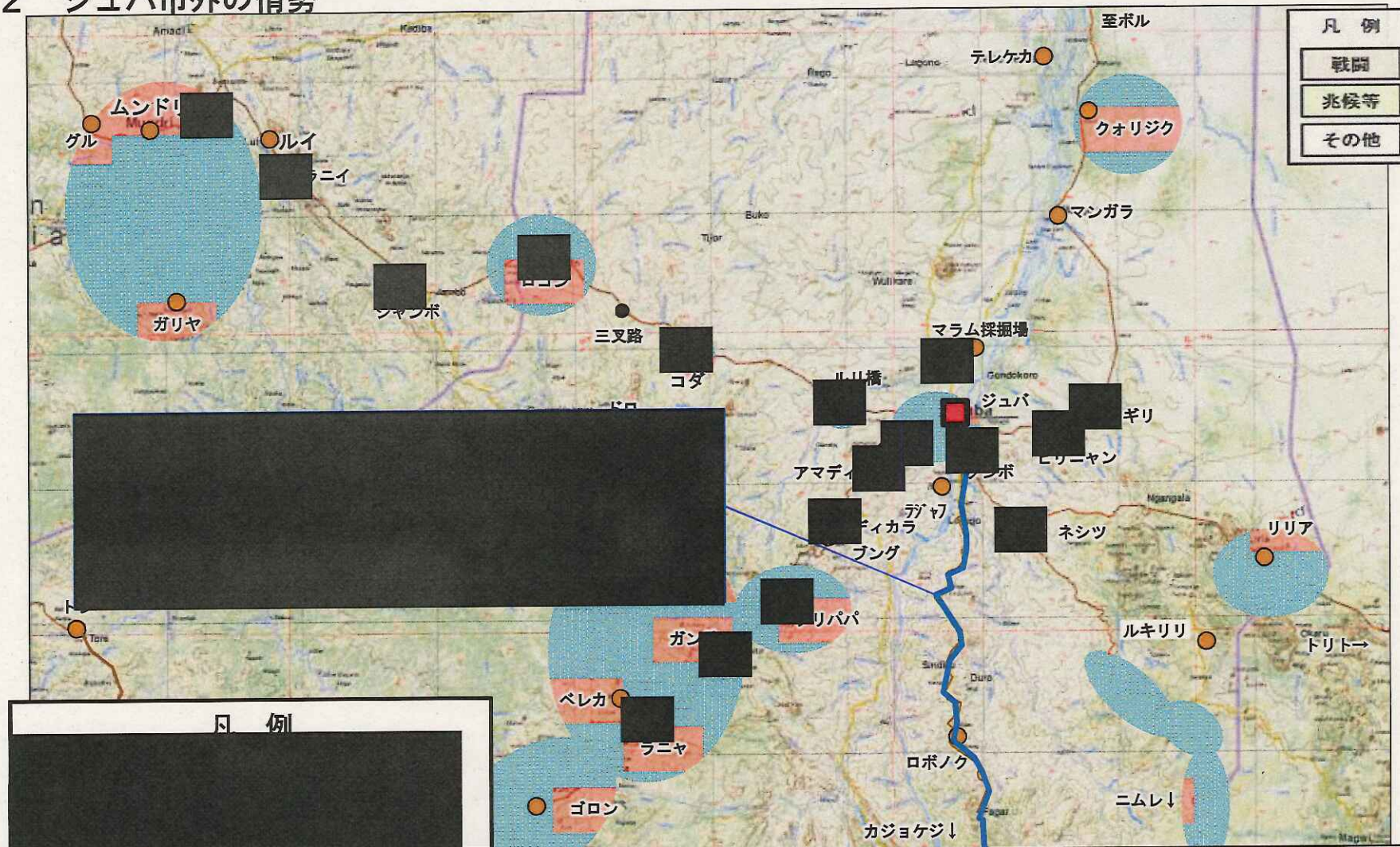
また、ジュバ～イエイ道の物資運搬車列移動に伴う、検問渋滞等への巻き込まれに注意

情 勢 (2/6) / Situation



評 価	和平合意	和平合意については、JMECによる全体会議が終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、J VMMも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示している事から、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部及び南部において、政府軍と反主流派(マシヤル派)との小規模な戦闘が継続しており、マシヤル前第1副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による10月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対UNMISS感情の変化には注視が必要

2 ジュバ市外の情勢



評 価

郊外における状況は未だ不透明であり、道路沿いで政府軍に対する反主流派(マシャル派)による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

3 ジュバ市内の状況

- 5日0125頃、宿营地南西方向2 Km以上において、射撃音2発が確認された模様
(5日 派遣施設隊)
→ 夜間における流れ弾、巻き込まれに注意



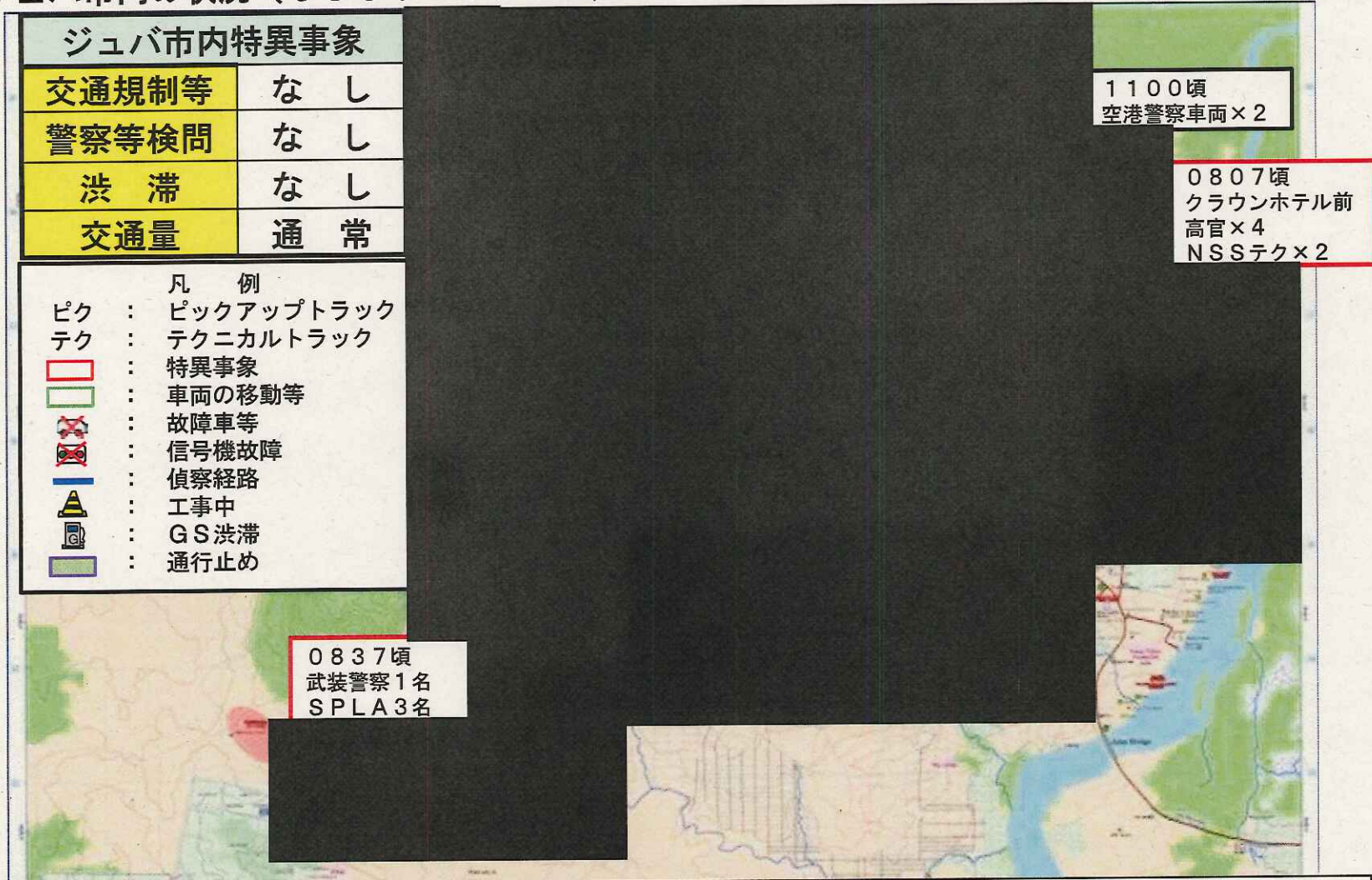
評 価

ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[REDACTED]では、常続的な射撃や、[REDACTED]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、IDPの対UNMIS感情の変化にも注視が必要

情 勢 (5/6) / Situation

20
別紙第3-5

4 ジュバ市内の状況 (0800~1100)



評 価

市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。
交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情 勢 (6 / 6) / Situation

21

別紙第 3 - 6

5 気 象 (0600i)

地 域	天 気	気 温		湿 度		降水量	備 考
		最 低	最 高	最 低	最 高		
ジュバ	晴れ	23℃	38℃	23%	65%	0mm	
カンパラ	晴れ一時雨	16℃	32℃	42%	95%	3mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

22

別紙第4-1

11月5日1800c

区 分	可 動 率	状 況	処 置
火 器	100% ■■■■■	な し	
車 両	100% ■■■■■	な し	
施 設	100% ■■■■■	な し	
通 信	100% ■■■■■	な し	
需 品	100% ■■■■■	な し	
衛 生	100% ■■■■■	な し	
その他		150KVA発電機×2 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 →■■■■■ 整備完了まで予備の220KV A発電機×1を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

23

別紙第4-2

11月5日1800c

区 分		品 名	総 数	取 得	返 納	保 管
弾 薬	B L	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	T R	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	計					
打ち殻	9mm打がら薬きょう					
	5. 5 6 mm打がら薬きょう					
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

喫食者数：323名（総員353名、国連休暇30名）

11月5日1800c

区 分	品 名		取 得	消 費	現保有量	維持日数	備考（処置）	
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型						
		市販型						
		アルファ米						
		UN非常用糧食						
	耐 久 品	米						
		副食パック						
	UN食材	生 鮮						
		冷凍・耐久						
	現地調達	生 鮮						
		冷 凍						
そ の 他	加熱剤							
燃 料	COE	UN軽油(発電機)						
	NOE	軽油（調達品）						
		灯油（調達品）						
		ガソリン(調達品)						
水	飲料水							
	海水淡水化装置（浄水）							

第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

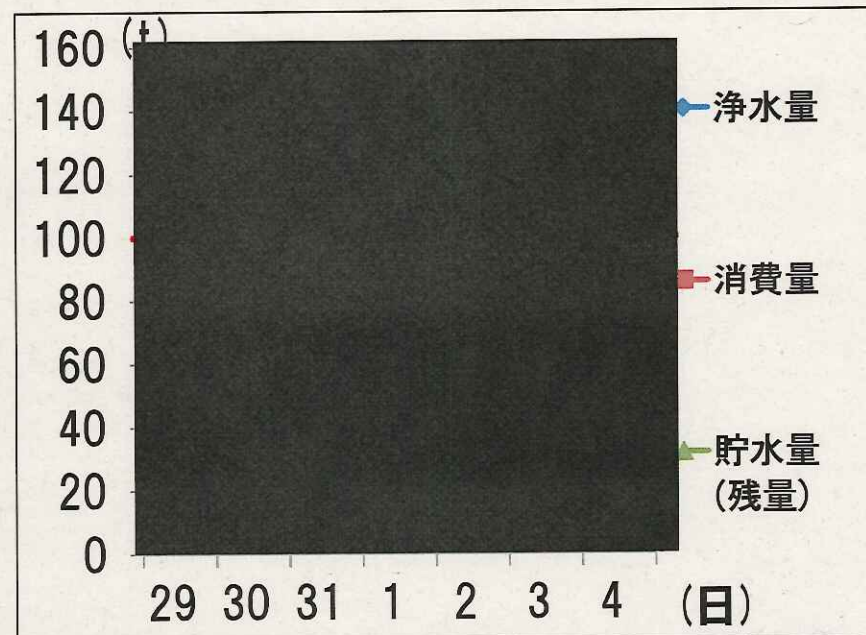
25
別紙第4-4

11月5日1800c

【H28.11】（10次要員）

凡例 — 消費量の目安ライン

曜	日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
土	29			
日	30			
月	31			
火	1			
水	2			
木	3			
金	4			



他国供給先（前日実績）	供給量
UNハウス	
トランジット	1
ネパールFPU	3
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	5
バングラ河川隊	
インド隊	
合 計	9

【評 価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。

再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応

○第5井戸の工事期間：10月20日から11月中旬

→水質検査のためのサンプル採取(11月4日1300c)

※ 貯水の危険水位：

(注)日々の消費量が連続で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。。

患者受診状況

受診患者計 3名

11月 4日 1800c
~ 11月 5日 1800c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備 考
隊本部	1名		
第1施設小隊	1名		
警備小隊	1名		

凡例： (再) → 再 診

人員現況／Personnel Status

11月5日1800c

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	353	30	323	国連休暇 30名 (11/3~11/8)	

宿営地待機人員

区 分	人員数
待機人員	

活動の分析及び評価

28
別紙第7-1

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	宿营地	流れ弾	10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17, 20 11/2, 5近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		IDPの流入又は侵入	
		流れ弾	
	#1POCサイト	IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）の予行の実施
		IDPデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ
	#3POCサイト	IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）	9/17 政府軍のPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

29

別紙第7-2

項 目			兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第1副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催 10/28 イブラヒム首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催 11/1-2 外国高官の来訪	
		反UNデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家ハルツ報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	9/22, 10/26, 11/3 ジュバ市内における射撃（夕方以降）	

活動の分析及び評価

項 目			兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は 存在	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪	
			10/24 ジュバ - ニムレ道沿いのウガンダとの協力態勢の確立	
			10/26 ジュバ - マンガラ間の治安部隊の配置	
			11/2 ジュバ - トリト道沿いの襲撃	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は 存在	
			10/14 コダでの政府軍と反主流派の衝突	
		ハラスメント	10/30 反主流派がムトリー地区を確保したとの発言	
		犯罪への巻き込まれ		
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ	10/26, 27, 11/1, 2 マラム採掘場の情勢は平穏	
			10/29, 30 近傍住民との小競合い	
		ハラスメント	11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
			10/26, 27, 11/1, 2 検問を異状なく通過	
			11/1-2 外国高官の来訪	
			11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
		犯罪への巻き込まれ	11/3, 4 検問に所在するSPLA兵士の感情良好	
			10/26, 11/2 牛の数が増加	
			10/27 部族間の感情は良好	
			11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
UNトンピン 活動	反UNデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
UNハウス 活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1POC サイト	IDPとの小競合いへの巻き込まれ		
#3POC サイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い IDP内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

32
別紙第7-5

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の 活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ		
	反UNデモ		
	流れ弾		

活動の分析及び評価

33
別紙第7-6

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガ ラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘 場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総 括

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、ジュバ西部及び南部の戦闘には注視が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃、政府軍兵士による反主流派と見做された民間人に対する暴行と報復が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、ムンドリ近郊における治安が不安定化している傾向にあり、UNMISS車両が問題なく通行しているものの、道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれ及び衝突の東側への波及には注意が必要

マラム採掘場に至る経路沿いでは、夜間に犯罪と見られる射撃が確認されているものの、UNMISS車両の通行に対する直接的な脅威は確認されておらず、犯罪への巻き込まれには注意が必要

██████では、常続的かつ単発的な射撃の発生、銃を携行した政府軍兵士及び#3POCサイトでの反主流派（マシャル派）の活動が確認されており、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。加えて、IDPとのUNPOL等との間で小競合いが発生しており、IDPの対UNMISS感情の変化には注視が必要

ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、不安定な状態が継続しており、流れ弾には注意が必要

加えて、大統領級の高官来訪時には市内及び郊外へ至る経路の警備が強化される模様であり、高官来訪時にはSOF A違反には注意が必要

また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始めたものの、市民団体が反発を示すとともに、政府報道官が近隣国からの派遣を拒否する姿勢を示しており、対UN感情の変化には注視が必要

UNトンピン内においては、IDPの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要

評 価 (総括)	・ 宿営地内及びUNトンピン内活動は、IDP移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 ・ ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性はあるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、市内状況、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要である	
処置・対策	疾病罹患	
	流れ弾対処	
	SPLA等によるハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

1 1月6日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

2 (1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) ア 活動警備レベル（基準）

(ア) UNトンピン地区 レベル■

(イ) ジュバ市内

a Zone 7（ハイニャクロン） レベル■

b Zone 8（ハイモナウ） レベル■

イ 宿営地警備 ■

3 (1) 共 通

各種整備

(2) SecPt（警備小隊）

宿営地警備及び■

(3) HQU（本部付隊）

宿営地維持・管理活動、UNトンピン地区内給水活動及び■

(4) MISec（情報班）

ジュバ市内及びUNトンピン地区における情報収集

(5) MPSec（警務班）

■

活動概要（UNトンピン地区）（1／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	その他	給 水	補給班	0800～ 1200	トランジット エチオピア歩兵大隊 ネパール歩兵中隊	2	給水車×1	
②		情報収集	情報班		UNトンピン内			
③	その他	臨時工兵課タスク	器材小隊 隊本部 (広報)	別示	UNトンピン内			

活動概要（UNトンピン地区）（2／5）



臨時タスク

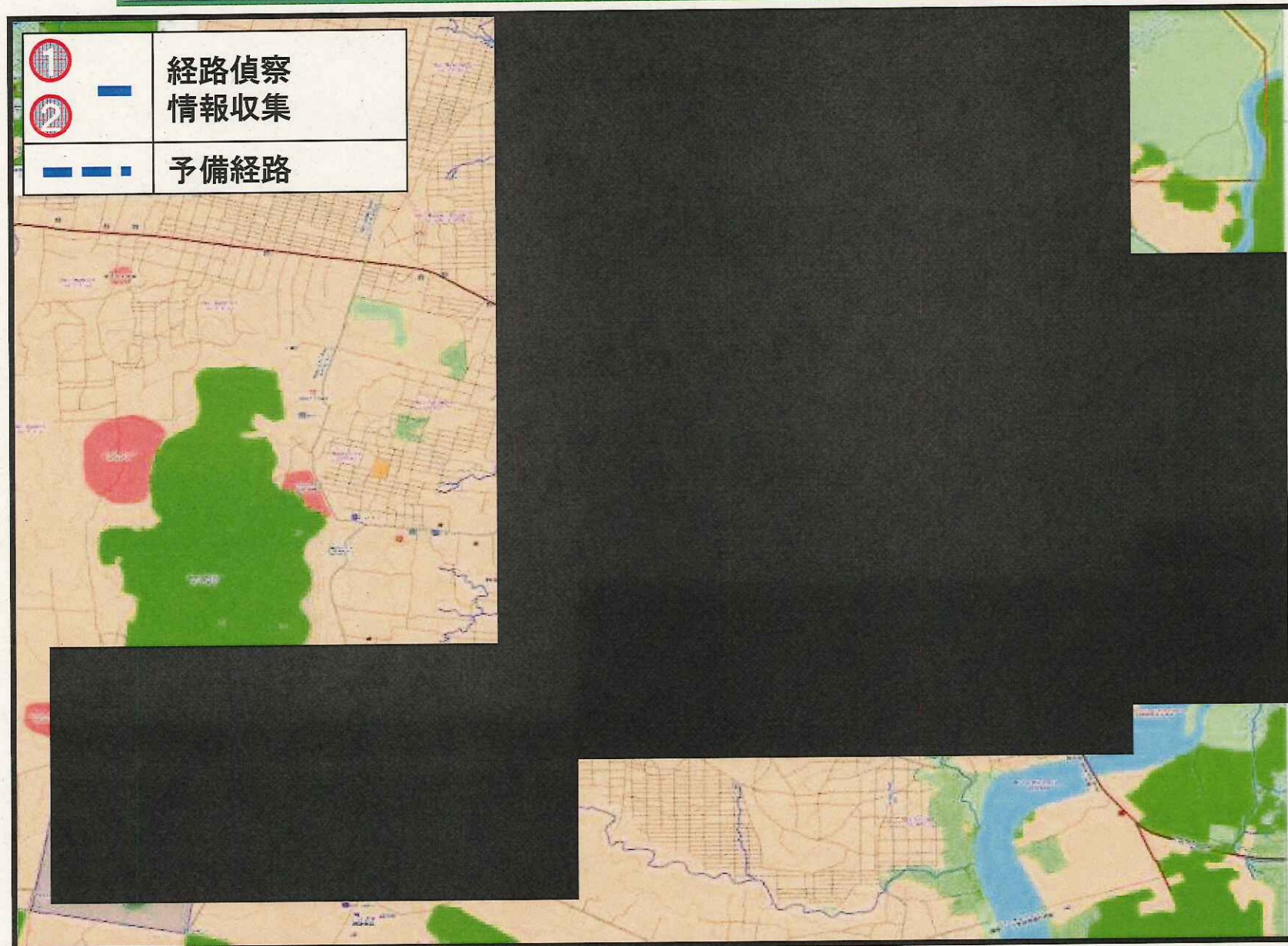
活動概要（UNハウス地区）（3／5）

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内・UNハウス）（4／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②	その他	情報収集	情報班		ジュバ市内			

活動概要（ジュバ市内）（5／5）



視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
視察・来隊者等予定なし		

隊長、副隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
隊長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第11「全般活動予定」

11月 月間業務予定

		11月																																							
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30										
曜		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水										
全般		高官対応					隊朝礼 曹士朝礼 先任陸曹等会同					メダルパレード予行 メダルパレード					隊朝礼 帰国に関する前進命令下達 作戦指導(先発)					500タスク達成 記念隊朝礼 10次先発帰国					隊朝礼 曹士朝礼 先任陸曹等会同					物品管理検査 帰国に関する前進命令下達 作戦指導(1波)					隊朝礼 10次1波帰国 11次先発出国				
		VTC					MSR事前偵察 (O-1) VTC					MSR事前偵察 (O-2) VTC					毎月点検					VTC					VTC														
施設活動	UN トンピン	給水活動 避難壕構築 トンピン地区内排水整備・道路整備																																							
	UN ハウス	UNハウス地区西側外壁構築 UNハウス地区弾薬庫増設 #1 POCサイト南側排水溝構築																																							
	UN 施設外	MSR事前偵察(マンガラ) MSR事前偵察(コダ)(O-1) マラム運搬 MSR事前偵察(コダ)(O-2)																																							
教育訓練		帰国に関する前進命令下達 作戦指導																																							
連絡調整		[黒塗り]																																							
情報・保安		国連休暇前保全教育					10次帰国前教育					保全会同(内1日) 月例点検					11次着隊教育					保全巡回指導(内1日)																			
人事・総務・厚生		孤児院慰問					メダルパレード予行 メダルパレード					孤児院慰問					UN日当請求 孤児院慰問					各国への離任挨拶 各国との懇親会																			
広報		国連休暇前報道対応教育 UNMISS取材(孤児院)					UNMISS取材(孤児院)					FB及び各機関紙への投稿 UNMISS取材(孤児院)					家族通信最終号発簡 UNMISS取材(孤児院)																								
後方・会計・輸送		#1集荷 換金					ウガンダ出張 追送品受領					毎月点検 換金					物品管理検査 武器・弾薬引継点検 換金					ウガンダ出張																			
警務・法務		国連休暇前教育																																							
衛生・医務		国連休暇前教育 衛生教育(メアキン内服)					衛生教育(メアキン内服)					帰国健康診断(先発) 衛生教育(メアキン内服)					衛生教育(メアキン内服)																								
その他 (表敬等)																																									

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA-PKO 連携案件	職業訓練 「#4 さくらPJ」	MTC	実施困難	MTC JICA	・10/1 JICA南スーダン事務所長交代（ウガンダ事務所長兼任） ・10/20 JICA南スーダン事務所のウガンダ移転完了。南スーダンへの復帰時期の見通し立たず ・現在のUNMISSの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難 ・11/23 担当者引継ぎ、12/14 隊長による次長表敬予定	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	JICA 大日本土木	CRFにおいて実施の可否を検討中	CRF JICA	CRFにおいて外務省及びJICAによるプロジェクト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等連携案件	UNOPS水質調査支援（日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼）	UNOPS (大使館)	工兵課からタスク発出済み	UNOPS (※) (大使館)	・ボル河川港建設事業は現在着工済だが、引き続き、水質調査支援等の連携のため、UNOPS側より工事の進捗状況について情報提供をする予定	
		UNハビタット（日本政府予算によるワウ・ジュバにおける居住環境整備事業）	UN ハビタット (大使館)	大使館から連携の可能性検討再開の打診あり	UN ハビタット (大使館)	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得るための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・UNハビタットは、7月衝突事案以降中断していた施設隊との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・10/21に、大使館とUNハビタット担当が現地偵察を実施。施設隊と連携できる場合は、排水改善のための側道整備となることが判明 ・UNハビタットから、UNMISSハイレベルの書簡による打ち込み完了（11/4大使館より確認）	
3							

※ UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡 例 ◎： タスク化成立 ○： 自隊による実施 ×： 実行の可能性低 ー： 調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5 參考資料

気 象 (5日～6日) ジュバ／Weather JUBA

昨日からの総雨量

総雨量

0mm



日 (曜) Date		5日 (土)						6日 (日)	
時 Hrs		6～9	9～12	12～15	15～18	18～21	21～24	0～3	3～6
主要な活動		孤児院慰問 UNの基盤整備							
		国連休暇 (10Gp)							
Juba	天 気								
	気温 (°C)	31	36	38	36	32	25	24	23
	体感気温 (°C)	32	36	38	40	35	26	26	25
	降水確率	0%	0%	0%	0%	80%	50%	0%	50%
	雨量	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	2mm	0mm	0mm
	風向	南南東	南南東	東北東	北東	北北東	西	西南西	南南東
	風速	3	3	1	1	1	1	1	2
評価 Assesment	施設活動								
	行 事								

凡例 影響度: 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

気 象 (週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日 (曜)		6 日 (日)	7 日 (月)	8 日 (火)	9 日 (水)	10 日 (木)
主要な活動			会計幹部ウガンダ出張 UNの基盤整備			
			市内研修			メダルパレード
		国連休暇 (10Gp)				国連休暇 (11Gp)
Juba	天 気					
	気温 (°C)	38 / 23	37 / 23	37 / 23	36 / 23	36 / 24
	降水確率	50%	90%	90%	60%	90%
	雨 量	2mm	0mm	1mm	1mm	0mm
	評 価					
Kampala	天 気					
	気温 (°C)	30 / 16	29 / 16	30 / 16	31 / 17	31 / 15
	降水確率	90%	90%	90%	90%	90%
	雨 量	4mm	4mm	2mm	2mm	2mm

凡例 影響度: 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

評 価
Assessment

- 1 ジュバは6日以降降水確率が高く、不安定な天候が続く模様
- 2 ウガンダは週を通じて降水確率が高く、局所的な雨に注意

赤字：強調

	区 分	4月	5～6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価
	全 般	29 29		8 11 16	5 12	4 13~28 21 30	15 16 19 28	3 10 15 17 29	12 15	
軍 政府樹立	停 戦			11 停戦合意		23 武力抵抗言	17 国連停戦履行呼び掛け			
	外国軍撤退									
	ジュバ非武装化									
	統 合									
	議会の拡大									
	権力配分									
	選 挙									
	憲法修正									
評 価										

赤十字・強調

評価

The diagram illustrates the progression of military and political events over time. It features a central horizontal axis representing months from April to December. Vertical bars and boxes indicate specific events and their durations.

- Military Events:**
 - April: Ceasefire agreement (11).
 - May-June: Foreign troops withdrawal.
 - July: Disarmament efforts (Juba city).
 - August: Foreign troops withdrawal (29), acceptance (1), UNMISS mandate renewal (5, 13, 16).
 - September: UNMISS mandate renewal (4), RPF acceptance (17), JMEC decision (23), UNMISS mandate renewal (27, 28).
 - October: UNMISS mandate renewal (18, 23), RPF promotion (18), JMEC decision (18, 23), UNMISS mandate renewal (18, 23).
 - November: UNMISS mandate renewal (18, 23), RPF promotion (18, 23), JMEC decision (18, 23), UNMISS mandate renewal (18, 23).
 - December: UNMISS mandate renewal (18, 23), RPF promotion (18, 23), JMEC decision (18, 23), UNMISS mandate renewal (18, 23).
- Political Events:**
 - April: Provisional government establishment.
 - May: Provisional government establishment.
 - June: Provisional government establishment.
 - July: Provisional government establishment.
 - August: Provisional government establishment.
 - September: Provisional government establishment.
 - October: Provisional government establishment.
 - November: Provisional government establishment.
 - December: Provisional government establishment.

和平方合意については、キール政権及びタバン第1副大統領への非難を継続するマシヤル氏とタバン第1副大統領との和平方合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、反主流派（タバン派）のための野営地の承認を除き、進展は低調な状況

地域保護部隊に関して、エチオピア大統領やAU議長の来訪により、キール大統領との間で具体的な議論が実施された可能性があり、今後の南スーダン政府の動向に注視が必要

セクターサウス内部状況（2016年11月3日現在）

56



 エチオピア 歩兵大隊 I (本部: ジュバ)	 ルワンダ 歩兵大隊 I (本部: ジュバ)	 日本 施設部隊 (約350名: 本部: ジュバ)	 インド 歩兵大隊 II (本部: ジュバ)
 ネパール 歩兵大隊 II (本部: ジュバ)	航空部隊 (本部: ジュバ)	 バングラデシュ 施設部隊 (本部: ジュバ) 河川部隊 (本部: ジュバ)	 エチオピア 歩兵大隊 II (本部: ジュバ)
 中国 歩兵大隊 (本部: ジュバ)	 カンボジア 憲兵隊: (本部: ジュバ) 医療部隊: (本部: ジュバ)		 = 増派部隊  = 後方支援部隊

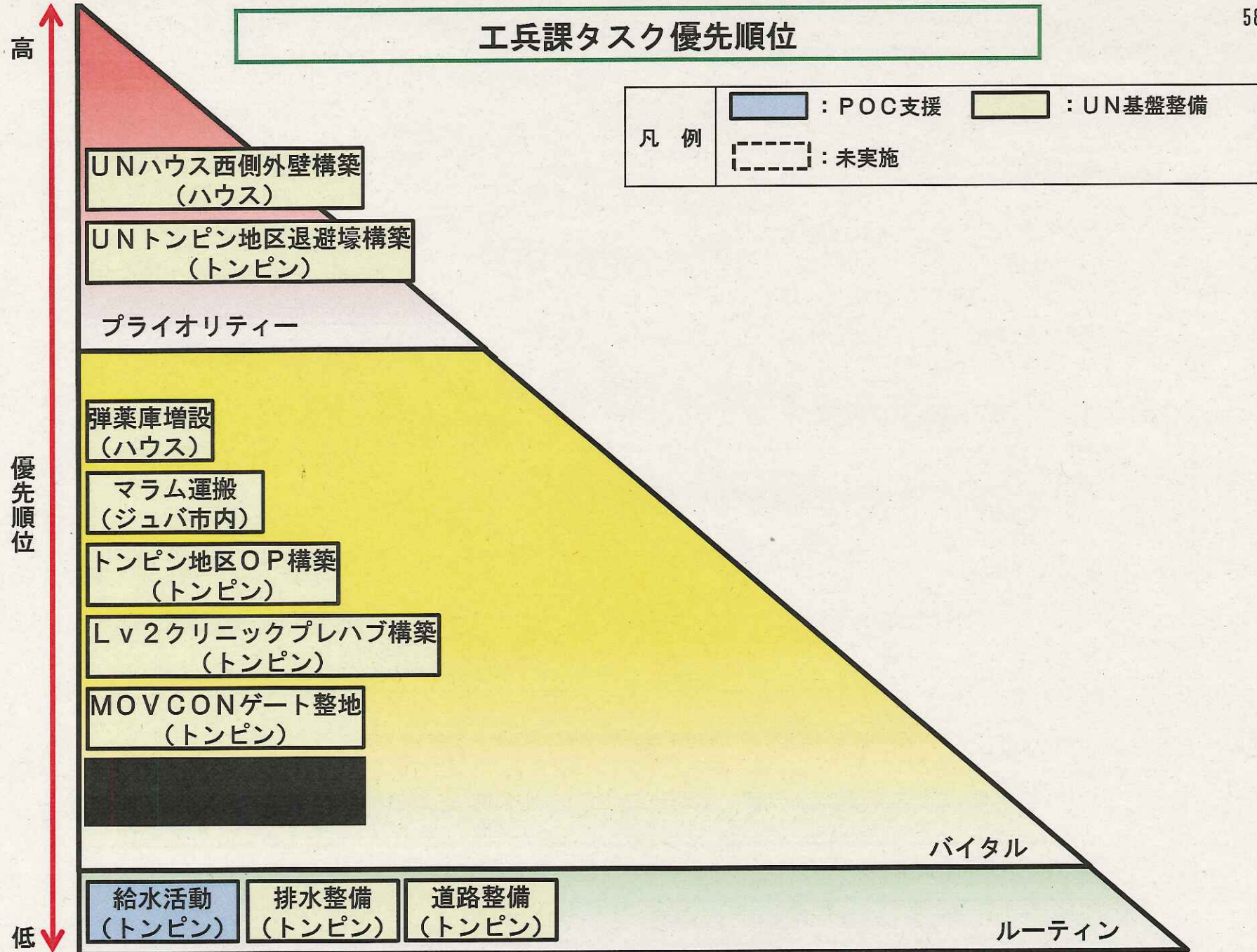
人員現況（第10次要員）

57
2 8 . 1 1 . 5
1 5 0 0 c

場 所	部 隊	総 員	内 訳			現在員	事故	理由	
			幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)				
ジュバ	隊本部							国連休暇 2 名	
	本部付隊							付隊本部	
								隊本部班	国連休暇 1 名
								整備班	国連休暇 2 名
								補給班	国連休暇 3 名
								通信班	国連休暇 1 名
								衛生班	国連休暇 1 名
								営繕班	
								施設器材小隊	国連休暇 4 名
	第 1 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 2 施設小隊							国連休暇 3 名	
	第 3 施設小隊							国連休暇 2 名	
	警備小隊							国連休暇 7 名	
	情報班							国連休暇 1 名	
	警護班								
派遣警務班									
合 計	353	65	252	36	323	30			

凡例 赤字：強調 青字：不在者

工兵課タスク優先順位



11月5日タスク等現況（1／2）

59

凡 例 : POC支援 : インフラ整備 : UN基盤整備 : 国際機関等連携案件

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施 計画				
492	UN 基盤整備	2	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施 計画				
469	UN 基盤整備	3	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設 外柵構築	実施 計画				
500	UN 基盤整備	4	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日 累計				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
508	UN 基盤整備	6	Lv2クリニック プレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	実施 計画				
507	UN 基盤整備	7	MOVCON ゲート整地	UNトンピン	整 地	実施 計画				
325	POC 支援	8	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	9	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	10	道路整備	UNトンピン	道路整備					

11月5日タスク等現況（2／2）

60

凡 例		: UN基盤整備
-----	--	----------

2 未実施

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第10次要員）		
510 (496)	プライオリティー	14	
	バイタル	70	
	ルーティン	3	
	計	87	
		完了	76
		実施中	10
		未実施	1

地域脅威レベル評価 (28. 11. 6現在)

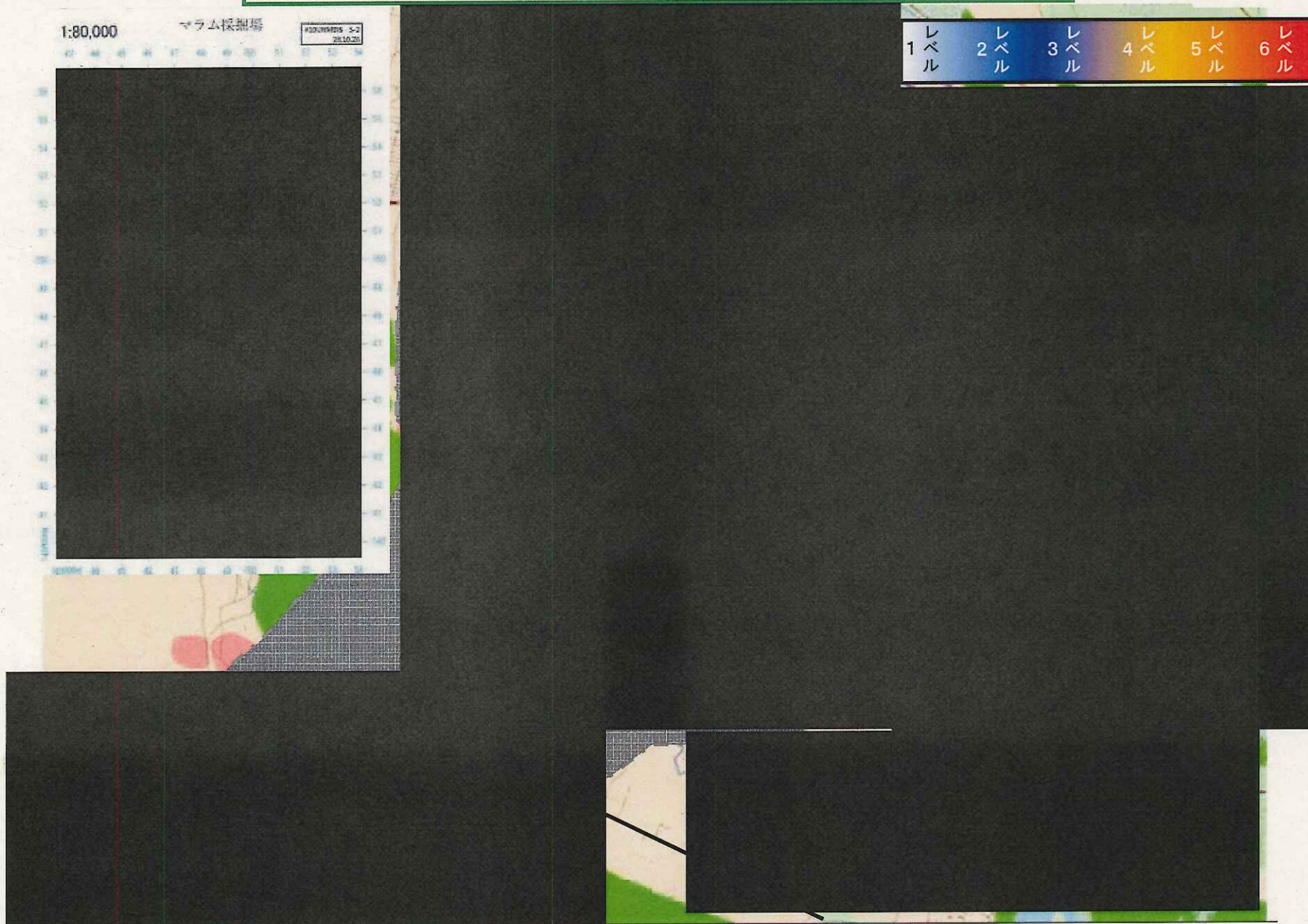
61
2016. 11. 4

1:80,000

マラム探銅場

#30-09M005 3-2
28.10.29

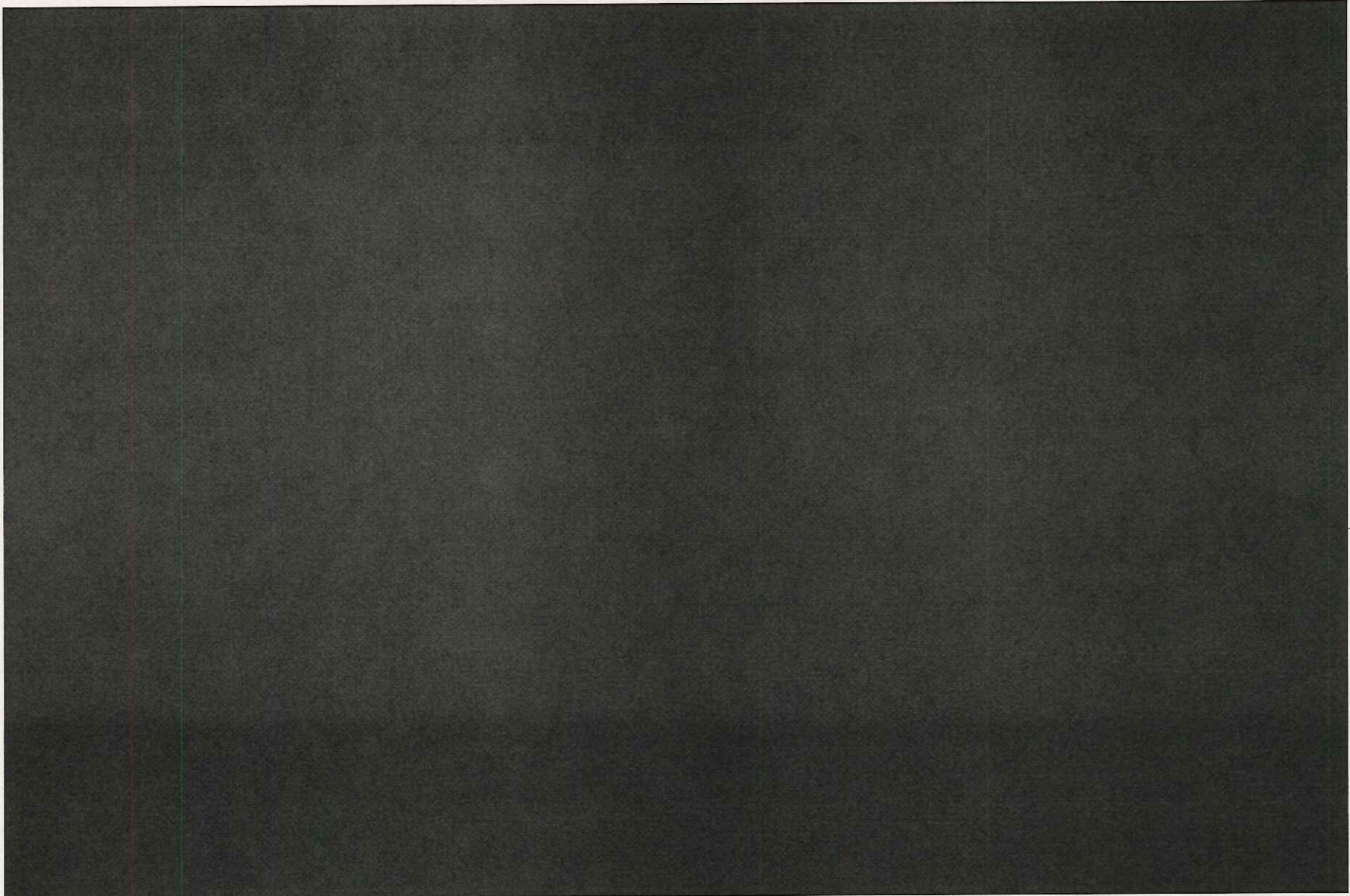
1 レベル	2 レベル	3 レベル	4 レベル	5 レベル	6 レベル
----------	----------	----------	----------	----------	----------



隊員服装・装備等基準

62

区 分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			



活動写真

自隊計画（ジュバ市内）



CCC (Confident Children out of Conflict) 慰問

自隊計画（ジュバ市内）



CCC (Confident Children out of Conflict) 慰問

自隊計画（ジュバ市内）



CCC (Confident Children out of Conflict) 慰問

自隊計画（ジュバ市内）



CCC (Confident Children out of Conflict) 慰問

活動写真

自隊計画（宿营地）

宿营地整備
(施設器材小隊)

自隊計画（宿营地）



日豪懇親会

自隊計画（宿营地）



日豪懇親会

自隊計画（宿营地）



日豪懇親会